

皮膚科

【診療科概要】

当科では、皮膚疾患全般を対象としております。外来診療が主体で、必要に応じて入院診療もおこなっています。検査としては、日常の顕微鏡検査からパッチテスト、皮膚生検まで随時おこなっています。治療としては、ナローバンドUVBやPUVAによる光線療法や簡単な手術も随時おこなっています。

皮膚科-診療概要

外来は、月曜から金曜までの午前中のみで再診の方は予約もとれます。しかし予約なしでも11時までには受け付けしていただければ、診察します。初診の方は予約はとれず、原則11時までの受付となっています。

皮膚科-対象疾患

皮膚疾患全般。アトピー性皮膚炎や接触皮膚炎（かぶれ）などの湿疹皮膚炎群、薬疹、じんましん、水虫を初めとする真菌疾患、イボや帯状疱疹などのウイルス疾患、とびひやニキビなどの細菌感染症、疥癬や蜂刺症などの虫による疾患、乾癬、掌せき膿疱症、脱毛症、尋常性白斑、熱傷や褥創の軽症例、水疱症、粉瘤などの皮膚腫瘍、ほくろなどの母斑症、各種皮膚がん、膠原病、その他皮膚に発生するあらゆる疾患を対象とさせて頂いております。

【目標と理念】

皮膚疾患全般の診察、検査、治療を自分一人で、おおまかにできること目標とする。理念としては、皮膚疾患全般を総合的に理解し、診断と治療の技術を習得し、地域医療に貢献することである。

【到達目標】

皮疹の記載が正確にできる、真菌検査が正確にできる、各種皮膚疾患に対する軟膏の選択と使用の仕方が的確にできる、皮膚疾患の重症度判定ができる、皮膚悪性腫瘍の判定ができることなどを到達目標とする（1年次、2年次とも）。

皮膚科-検査・治療

検査：真菌疾患、虫による疾患やウイルス性疾患に対する直接検鏡検査は必要時随時おこなっています。金属アレルギーなどに対するパッチテストは月曜または火曜の午後に随時おこなっています。皮膚生検も必要時随時おこなっています。

治療：乾癬や白斑に対してナローバンドUVBによる光線療法をおこなっています。また、PUVAによる光線療法は掌せき膿疱症、乾癬や白斑などに対しておこなっています。光線療法は、月曜から金曜の午後2時から4時まで随時おこなっています。